

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会 広報紙 2024年2月号 (No.54)

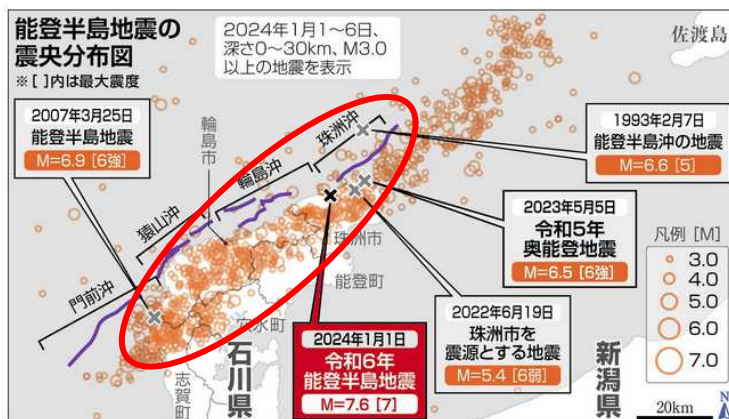
能登半島地震M7.6 経産省は処分適地と判断

年明け早々の1月1日夕方、思いもよらない知らせが飛び込んできました。能登半島でマグニチュード7.6の巨大地震。津波からの避難を呼びかけるNHKの女性の声に、東日本大震災や胆振東部地震、北海道南西沖地震の記憶を呼び起こされた人も多かったことでしょう。地震による家屋倒壊、津波、火災などにより200人以上が亡くなる大被害となりました。亡くなられた皆さんにお悔やみ申し上げます。また、負傷された皆さん、避難生活を続けている皆さんが一刻も早く、以前の生活を取り戻されることを願ってやみません。

ところで、今回の地震では、驚くことが起こっています。海底が盛り上がり、これまで海だったところが岩場になっています。隆起した高さは約4メートル。数千年に一度の現象だという専門家もいらっしゃいます。

こんな地殻の大変動が起きた能登半島を、経済産業省の「科学的特性マップ」はどう評価していたのか、町民の会ではすぐにホームページをチェックしました。すると、珠洲市付近の一部だけは黄色（好ましくない特性があると推定される地域）と指定されていましたが、能登半島の大部分は緑色（好ましい特性が確認できる可能性が相対的に高い地域）に指定されていました。緑色の地域でも海岸隆起は起こっています。

これだけの大地震を経済産業省は予測していなかったのです。海岸隆起を見た専門家たちも一様に驚いています。「科学的特性マップ」は信頼できるものではありません。



能登半島地震の震央分布図（東京新聞 HP より）



経産省の「科学的特性マップ」

凡例

- 好ましくない特性があると推定される地域（地下深部の長期安定性等の観点）
- 好ましくない特性があると推定される地域（将来の掘削可能性の観点）
- 好ましい特性が確認できる可能性が相対的に高い地域
- 輸送面でも好ましい地域

胆振東部地震
でも適地

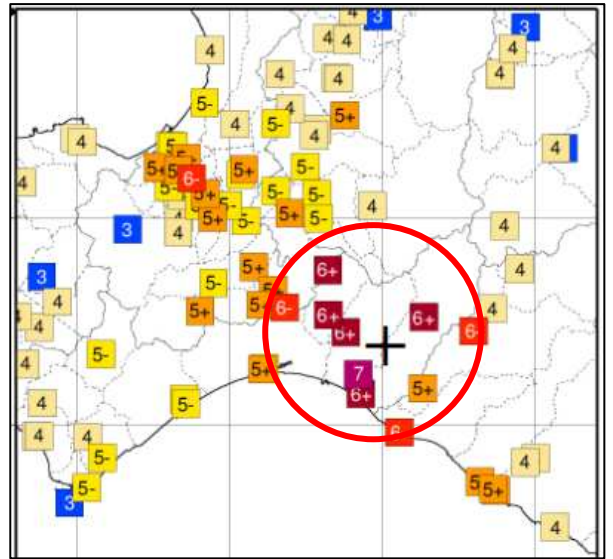
「非科学的でたらめマップ」でないかい

2018年9月6日の胆振東部地震では、最大震度7を観測し、厚真町付近では、大きな土砂崩れが多発しました。あの地震の震度分布図を見てみましょう。胆振東部から札幌市にかけて、震度5以上が広く分布し、千歳市から安平町・厚真町・むかわ町にかけて震度6となっています。

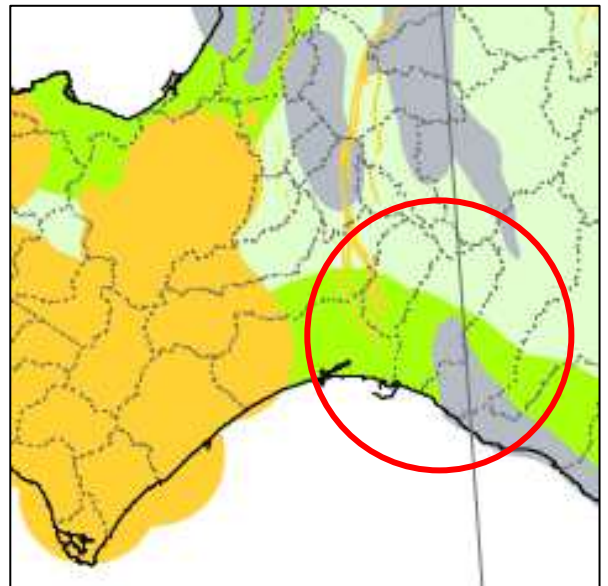
一方、経済産業省の「科学的特性マップ」を見ると、もっともよく揺れた地域が緑色になっています。あれだけの大きな土砂崩れが起きた地域なのに、おかしくありませんか。

「科学的特性マップ」ではなく「非科学的でたらめマップ」だと言ったら、言い過ぎでしょうか。

地震がどこで起きるのか、いつ揺れるのか、どれだけの規模となるのか、いまの科学では正確に見積もることはできません。火山も同じです。だからこそ、地震学者も火山学者も地球のことを一生懸命研究しているのですよね。どうして、地震や火山の専門家でない経済産業省だけが地層のことを正確に知っているような顔をするのでしょうか。分からないことは分からないと認め、10万年の処理に困るゴミを生み出してきたことを謝り、カネで地方に押し付けることはやめるべきです。

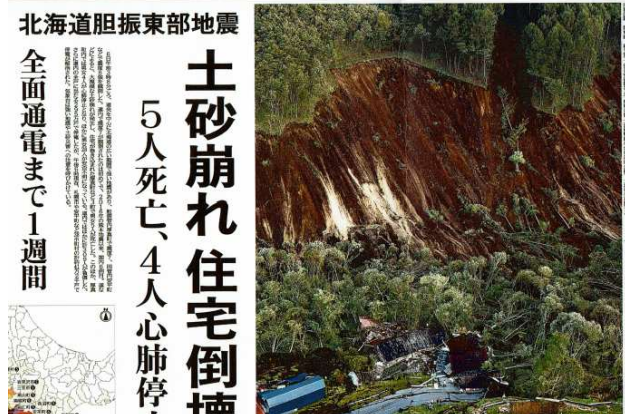


胆振東部地震の震度分布図
(気象庁 HP より)



経産省の「科学的特性マップ」

真震度7 道内全



胆振東部地震での山崩れ
道新 2018年9月7日



海底が大きく隆起。石川テレビより。

知っていま
したか？

能登地震は一步間違えれば日本壊滅だった

今回の地震が起きた能登半島には志賀原発があります。幸い、志賀町は震央（震源の真上）からすこし離れていました。それでも、想定以上の揺れが観測され、再稼働に向けた審査で改めて問題になる見込みです。しかし、震央のあった珠洲市にも、以前、原発が計画されていました。

珠洲原発の計画は1986年に発表され、市議会の全会一致で誘致が採択されました。しかし、1989年に関西電力の調査に対して反対派住民が抗議し、調査は中断しました。1993年には、市長選挙に偽造投票用紙が紛れ込んだ不正があったため、選挙が無効になりました。1999年には、暴力団が原発用地買収の協力見返りに関西電力と清水建設に30億円を要求する事件も発覚しました。選挙不正や暴力団の介入にも負けずに頑張った珠洲市民の力で、2003年に原発計画は断念に追い込まれました。

珠洲原発の建設予定地は、今回の震央のすぐそばでした。珠洲原発が建設されていて今回の地震が起きたら、発電施設は損壊し、海底の隆起で取水ができなくなり、使用済み核燃料を冷やせず、道路も寸断され応援も届かない…。福島原発事故の再来…。一步間違えれば、日本が壊滅していたかもしれません。それを救ったのは、むかし原発に反対して、建設を断念させた珠洲市の人たちです。

しかし、その珠洲市の人たちは、海底の隆起により漁業を断念せざるを得なかったり、道路が壊滅し被災集落が孤立したりと、さまざまな不幸に直面しています。珠洲市民の皆さんに、このたびの被災をお悔やみ申し上げますとともに、感謝の言葉を寄せた寄付などの支援を考えてみませんか。珠洲市への義援金の窓口は、市役所HPにあります。ふるさと納税をすることもできます。

珠洲市役所
義援金窓口



まさに今回の震央に計画されていた！



川 石 珠洲原発を断念 3電力 来週にも地元にも申し入れ

関西電力、中部電力、北陸電力は二十七日、石川県珠洲市に三社が共同で建設する珠洲原発計画を断念する方針を固めた。来週にも珠洲市と石川県に計画中止を申し入れ、理解を求める。電力業界筋が明らかにした。

一九七五年に構想が持たれた珠洲原発は、反対派住民の反発に遭い、立地可能性調査も八九年に中断し、二十八年に中断し、二〇〇〇年に中部電力が三重県の音振原発の計画を白紙撤回したのに続く計画断念で、国のエネルギー政策の進展を控える時間とコストがかかる同原発の計画遂行は困難と判断した。

二〇〇〇年に中部電力が三重県の音振原発の計画を白紙撤回したのに続く計画断念で、国のエネルギー政策の進展を控える時間とコストがかかる同原発の計画遂行は困難と判断した。

道新 2003年11月28日

石川・珠洲市長選は無効

原発争点 「投票審査に落ち度」

原子力発電所の建設計画（直）をめぐり、被告十分拡大せざるを得ない論議が封鎖されていた、を争った一九九三年の選挙は無効とされた。被告十分拡大せざるを得ない論議が封鎖されていた、を争った一九九三年の選挙は無効とされた。被告十分拡大せざるを得ない論議が封鎖されていた、を争った一九九三年の選挙は無効とされた。

選挙不正をしてまでの原発推進だった。開票総数が投票者数より多かったなど数々の疑惑により、選挙は無効となった。

朝日 1995年12月11日

名古屋高裁判決



2017年夏の早朝。尻別川河口から蘭越方面一帯が雲海に覆われていました。

美味しい我が故郷⑪



寿都の冬の名物、くじら汁。くじらの脂をどれだけ抜くのか、人によって違うみたいです。私は抜かない派。土鍋で昆布とカツオの出汁をとり、脂ギトギトのくじらを放り込んで、根菜と山菜、きのこと一緒に煮込む。醤油と塩で味を整えたら、美味しい！ これを食べないと、冬が来た気がしません。

町民の会川柳⑬

- ・また出たぞ 伝家の宝刀 秘書が秘書が
- ・札束が 勝手に歩く 永田町
- ・能登の海 先人知見が 国救う
- ・町議会 ながなが話して 煙に巻く
- ・寿都湾 久しく照らす 集魚灯
- ・ことしこそ 豊漁願う 春の海
- ・晴れた朝 けあらし覆う 寿都湾
- ・元旦に 南西沖を 思い出す
- ・どこか似る 今年の干支と ハツカクが
- ・ぼくゴッコ カエルの子では ありません
- ・今日は雪 昨日も雪 明日もか
- ・ソ連とは ちがって安全 言っていた
- ・隕石に 当たるよりと 嘘を言い
- ・プルトくん 飲んでも安心 これもウソ
- ・土深く 埋めてしまって 知らん顔

(た) (た) (た) (た) (た) (た) (た) (た) (つ) (つ) (つ) (つ) (つ) (つ)

あなたの川柳もぜひお寄せください。
kakugomino@gmail.com

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

事務局 048-0401 寿都郡寿都町字新栄町 101-6
TEL/FAX : 0136-62-3630 kakugomino@gmail.com
HP : <http://kakugomi.no.coocan.jp/>
FB : <https://www.facebook.com/106569234530018/>
北海道銀行寿都支店(店番号 304)普通 0481374
ゆうちょ銀行 記号:19070 番号:44246811

